

清流・清風・清香・清人

令和3年12月2日

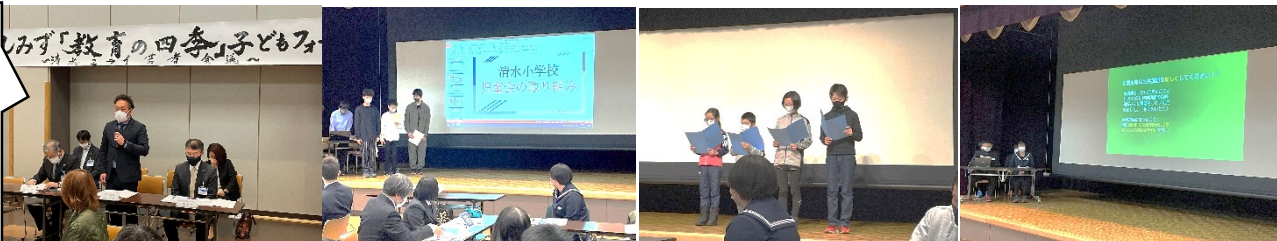
文責 山下 勇

2年ぶりに「子どもフォーラム」開催

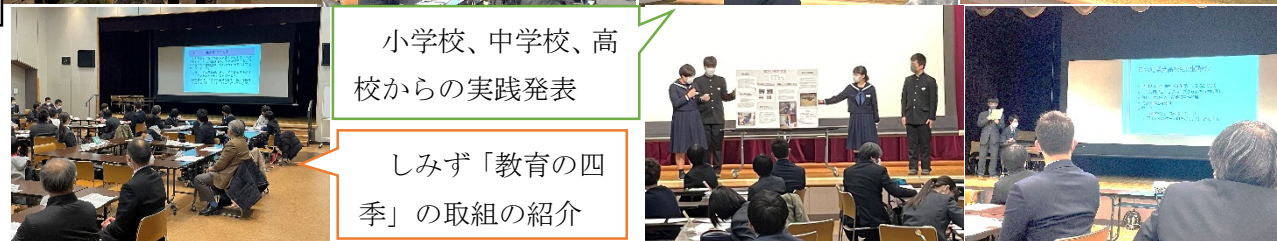
11月30日(火)、小・中・高校生、大人〈しみず「教育の四季」地域学校協働本部役員や教職員、教育委員会職員、保護者、地域住民〉が一堂に会して、「子どもフォーラム」が開催されました。本フォーラムでは、始めに幼稚園や小・中・高校での“しみず「教育の四季」”の取組(まとめ)が紹介されました。日常的な教育活動の中で、確実に定着してきていることがわかりました。次に、各校からテーマ「清水町の歴史、そして未来」について実践発表がありました。各校とも工夫した発表方法(パワーポイントやタブレット、パネル等)で、見て、聞いて分かりやすい発表をしました。児童生徒に「伝える力」が育まれていることを実感するとともに、堂々と発表する姿に感動しました。その後のグループワークでは、児童生徒と大人がテーマについて意見を交流しました。自分の考えをしっかりと発言する児童生徒、それを受け止め、メンバーからさらなる考えを引き出す大人たち。異世代交流による化学反応が起き、意見交流が深まりました。最後に、グループワークのまとめを高校生が代表して発表しました。「未来の清水のまちづくり」につながる内容の発表がされました。

子どもと大人が一緒になって話し合う様子を見て、このような場・機会の必要性や大切さを感じました。今後も、フォーラムのような機会を実施していきたいと思います。

開会で森会長挨拶



小学校、中学校、高校からの実践発表



しみず「教育の四季」の取組の紹介



グループワークで意見を交流

高校生が、各グループで話し合われた内容をまとめ、コンパクトに発表